

# 令和5年度 自己評価・施設関係者評価

幼保連携型認定こども園 鈴の宮幼稚園

## 1、本園の保育・教育目標

幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通じて周りの世界に興味をもち、探索し思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と充分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・未就園児幼稚園体験や園庭開放の実施、子育て支援の充実(キンダーカウンセラー)
- ・保育の質の向上
- ・優秀な教員の確保、育成
- ・食育についての取組みを積極的に進める
- ・手洗いうがいの励行、換気を行い感染症予防に努める

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・保育の質の向上	幼児の発達をとらえるための研修を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日の職員会でもつようにし、自由に意見が開示できる環境をつくっている。
・優秀な教員の確保、育成	自園の労働環境、給与面、カリキュラム、行事を見直す。先輩からの細かい指導を積み重ねる。
・食育についての取組みを積極的に進める	自園農園で収穫した季節の野菜を使い、自園調理にこだわり、安全でおいしい給食を通し、食育を進める。アレルギー対応給食の提供。

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通じて、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

## 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	市町村からの不審者情報に対応できる体制を整え、また不審者訓練や避難訓練の実施により教員が冷静に行動できるよう訓練を重ねていきたい。 危機管理マニュアルの周知。
特別支援教育	配慮の必要な子どもが年々増加している中、しっかりと市・医療・福祉の関係機関と連携を取りながら子どもが楽しい環境、また教員が負担にならないような体制を作っていきたい。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

## 6、施設関係者の評価

記載事項に関しまして、ほぼ実行できたと認識しております。

## 7、構成員

保護者5名、地域住民3名